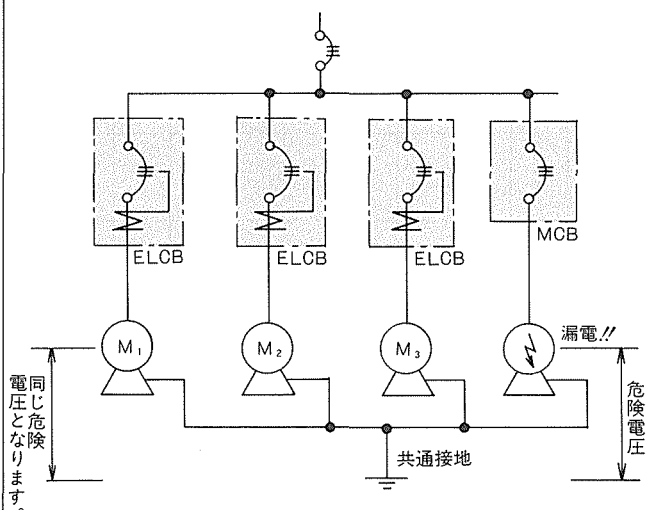


● 共通接地

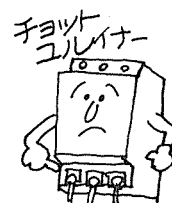
複数の電動機回路等において、漏電遮断器を取付けた電動機と、取付けない電動機のアース線を共用にいたしますと、万一漏電遮断器を取付けていない方の電動機で漏電があった場合、その対地電圧が共通接地線を通じて、漏電遮断器のある方の電動機にも危険電圧が生じる事になります。この時は、その漏電遮断器は動作しませんので、大変危険です。この様に共通接地をとった機器については、全回路へ漏電遮断器を取付けなければなりません。



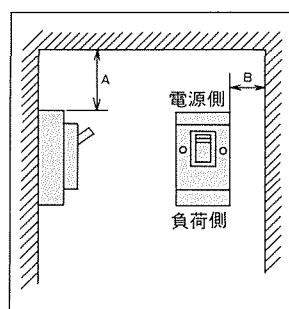
● 電線の接続

接続電線は適正な締付トルクにより確実に取付けて下さい。特に溶ダレス端子の場合は接続電線のハンダ上げをしないで下さい。接続不良を起しますと、端子部の過熱から火災の原因になったり、単相3線式中性極の接続不良の場合は過電圧により、負荷機器の破損に至ります。

電線接続の締付けネジは、適正な締付トルクで締付けて下さい。



2. アークスペース



フレームサイズ	最小寸法(mm)	
	A	B
30~75AF	30	25
100~250AF	50	40
400~1200AF	80	50

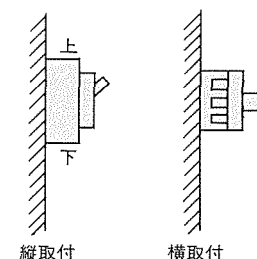
遮断器が大電流を遮断した時、電源側の排気孔からアークガスが噴出します。この排気孔のすぐ近くにしゃへい物や導電材があると、この部分でアークによる短絡や、地絡事故を起す可能性があります。このため遮断器取付にあたっては上表に示すアークスペースが必要です。

3. 取付方向

遮断器は鉛直面取付が基本です。熱動形、熱動電磁形(過電流引外し方式)のものは、その他の取付面でも問題はありません。

完全電磁形のものにおいては鉛直面取付(10°以内)以外の取付では特性が変化しますのでご注意下さい。

● 良い例



● 悪い例

